

2005（平成17）年度 東京大学 入試問題 第4問（文系） 解答例

- 一 人の背中とは、交際し対話する相手に意識して見せている正面とは異なり、無意識のまま他人の目にさらされているということ。
- 二 意識は常に現前の、視線が行くところに向かうので、視線の届かない背後を考えると、視線と同様、意識も空虚となるということ。
- 三 背後は死角であり、現前の世界と同時進行で存在するもうひとつの世界として、生死を超えた彼岸と類似しているということ。
- 四 背後から自己を人に意識させるには、名前を呼ぶことを除いて言葉では自信がないので、身体行為によるしかないということ。